

○車座懇談会 参加者からの意見とりまとめ (R7.2)

意見	今後の対応、回答	担当課
<b>○リニアについて</b>		
・水資源について、工事前後の比較ができるようなデータをとってほしい。	令和7年度に町内のリニア本線付近の井戸、沢、湿地について水位や水量などを現状把握するための調査事業を予定しています。	企画課
・JRの対応だけでは心細い。また、JRの予測は正しくない場合もある。それらに対応する措置をしっかりと考えてほしい。	リニア本線工事と発生土置き場の盛土工事はともにJR東海が事業主体として管理施工の責任を負うものです。町としては工事の進捗を適宜確認しながら、折々のタイミングでの報告を義務付け、予防の観点から言うべきことは言う姿勢でリスク管理を行っていきます。	企画課
・ゴルフ場の部分に産廃が埋まっているかもしれない。出てきた際の処分は必要。適正に対応してほしい。	仮定の質問にお答えすることはできませんが、法令に従い適正に対応します。	企画課
・レイクグリーンゴルフ倶楽部の池や重要湿地の水枯れが起こることが想定される。事案が発生してからの対応になるのか。	町としては、岐阜県環境影響評価審査会における今後のリスク回避の示唆に富む議論を注視しているところであり、JR東海には必要な事前調査、リスク管理、対応の検討を求めています。	企画課
・ウランによる健康被害が出た場合は町としてどのように対応していくのか。	ウラン鉱床に地形や地質が類似する区間の分布がないことを確認してから掘削することになっているため、ウランによる健康被害の心配はないと考えております。	企画課
・危機管理をしっかりしてほしい。最悪の状況を想定して、やれるべきことは組織としてしっかりやってほしい。	町民の安全の確保に向けてJR東海とは協定等の締結が必要と考えています。チェックや確認ができることも求めたいと考えています。	企画課
・住民に寄り添う、環境に配慮する、町民の評価として頑張っていると思われるように取り組んでもほしい。		企画課
・調査、評価、検討という観点に無頓着。人の意見を鵜呑みにしすぎず対策を実施すべきでは。		企画課
・個人に対して寄り添って思いを真摯に聞いてほしい。		企画課
・職員は町民ではなく、JRに寄り添っている。何もせずJRの言い分をそのまま鵜呑みにする。それは御嵩町の方針なのか。		企画課
・前知事の環境に対する発言を念頭に対策を実施してほしい。	一定程度保全が確保されることを前提に健全土の受け入れはやむを得ないと判断し、JR東海との協議に臨む方針です。最大限の改変エリアの縮小検討や影響低減、保全モニタリングをJR東海に求めていきます。	企画課
・大切な動植物が生息しているエリア（森林）を壊してほしくない。		企画課
・自然保護など対応するための専門部隊を立ち上げる組織作りはしているか。する予定はあるか。	専門部隊を立ち上げる予定はありませんが、地元の皆さまが保全活動を計画したり、活動するスタートアップを支援する「御嵩町環境保全地域活動スタートアップ支援事業補助金」を令和6年度に創出しました。ぜひ活用をご検討ください。	企画課
<b>○名鉄について</b>		
・電車がなくなった場合、バスで高校生をどのように不便なく対応できるか。	仮に名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅間）が廃線となりバス路線へ転換したとしても、鉄道廃止代替機能としての大量輸送性、速達性、定時性、安全性の確保や、バスの強みを生かした利便性向上についての視点を持って、高校生にとっても極力不便のないバス路線を設定していく必要性を認識しています。	企画課
・バスを選択した場合、朝、昼、夜は最低限走行できる仕組みを構築してほしい。	仮に名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅間）が廃線となりバス路線へ転換した際には、あくまでシミュレーション上ですが、鉄道廃止代替機能の視点から、運行時間帯も含め現在の鉄道のサービス水準をもとに検討していきます。	企画課
・バスを選択した場合、電車を利用する人よりも利用者の費用負担が増えるのではないか。	新可児駅～御嵩駅間であれば鉄道よりも安い運賃を設定することは可能であると考えています。一方で、新可児駅より先の名鉄各駅間への移動を伴う場合には運賃（バスと鉄道のすべての移動を合わせた運賃）は高くなる可能性もあります。	企画課
・東濃高校、東濃実業高校は町の宝である。教育の本質を捉え、存続させるためにどのような選択をするのがベストかしっかり検討してほしい。	それぞれの強みを持つ県立高校が町内に所在しているという価値を十分に踏まえ、町としての判断を行います。	企画課
<b>○新庁舎について</b>		
・新庁舎に安心して子どもを預ける場所などがあると助かる。	庁舎内の待合スペースやロビーの一部に、子どもが安全に過ごせるキッズスペースを設ける予定です。保護者の方が手続きをする際に、安心してお子様を遊ばせることができる環境を整えます。また、新庁舎に隣接する児童館には、子育て相談や親子交流スペースの整備も検討してまいります。新庁舎制整備に伴い子育て世代が利用しやすい環境づくりに努めてまいります。	企画課
<b>○総合計画について</b>		
・環境に対する本気度を楽しみに待っている。総合計画の中にも町長の思いを組み込んでほしい。	町としても環境保全・脱炭素社会の実現に関する施策の重要性を認識しており、町の将来像や町民の皆様の想いを総合的に勘案しながら、次期総合計画の策定を進めます。	企画課
<b>○人口減少について</b>		
・人口減少は避けられない。少なくなったらなっただけに対応していかななくてはならない。何かビジョンはあるか。	人口減少や担い手の流出による地域の衰退を食い止めるため、御嵩町民の誇り・愛着の醸成と御嵩町外のファン（関係人口）を創出し、町内外の交流・協働・連携を促進することで、地域活力と持続可能性を高めることを目指しています。	企画課

意見	今後の対応、回答	担当課
<ul style="list-style-type: none"> <li>・上之郷など納税者人口はどうしたら増えるか。</li> </ul>	<p>地域独自の特性を生かした定住における魅力を創出し、対外的に発信していく施策が効果的であると考えております。なお、人口増に向けた観点は多種多様に及びますので、一つに答えることは困難ですが、やってみること・チャレンジすることが最も重要だと考えます。</p>	<p>企画課</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性が活躍できる施策を展開してほしい。</li> </ul>	<p>年齢・性別・国籍を問わず皆が活躍し、町民が個性を生かして自分らしく生きていけるまちの実現に向けた施策を進めます。 また、家庭、地域、学校、職場など様々な場面において、それぞれの個性と能力が発揮できる男女共同参画社会の実現に向けて、教育と啓発を両輪とした取り組みを推進します。</p>	<p>企画課 福祉子ども課</p>
○空き家について		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家を貸店舗として活用する手立ではないか。</li> </ul>	<p>空き家を活用して創業される移住者に対して、手厚く支援していく制度の創設を進めております。</p>	<p>企画課</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家を育児や孤独に悩むお母さんの憩いの場所に活用できないか。みたけファミリー・サポート・センター事業もあるが、自宅にくるといのに抵抗を感じる人がいるのでは。</li> </ul>	<p>空き家を地域コミュニティの拠点に活用する事例も確認しており、今後の空き家活用の参考にさせていただきます。 ファミリー・サポート・センター事業について、サポート会員が利用会員の自宅に来ることに抵抗感を感じるという意見もありますが、それがファミリー・サポート・センター事業のメリット、特徴でもあります。今後も利用者の声を積極的に取り入れ、満足度の高いサービスを提供することで、より多くの方をサポートできるよう努めてまいります。</p>	<p>企画課 福祉子ども課</p>
○人材活用について		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・御嵩町の分野別の著名人名簿を作成してはどうか。部門別に活用方法が見いだせるのでは。</li> </ul>	<p>町内在住の著名な方の名簿作成については、いただいた意見を参考に今後検討してまいります。</p>	<p>生涯学習課</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史上の人物には小さな町から著名人が多く輩出されている。町が誇れる丹羽教授をどんどん活用してほしい。</li> </ul>	<p>上之郷小学校や中学校では、丹羽教授と交流を図っています。今後、教職員の研修で講師をお願いしたいと考えています。</p>	<p>学校教育課</p>
○施設の統廃合等について		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の老朽化、統廃合など今後の長期的な視点をもった考え方は。</li> </ul>	<p>施設の老朽化への対応は、定期的な点検と予防保全的な修繕を行い、施設の長寿命化を図ることが重要であると考えます。また、施設の統廃合については、施設の利用状況や将来需要の変化を見据えて、施設の統合や機能集約、複合化を検討していくことが重要であると考えています。</p>	<p>総務課</p>
○イベントについて		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人を集めて安全にイベントを実施する場所が城址公園しかない。雨天時は会場がないため中止せざるを得ない。雨天時でも団体が活用できる施設を整備できないか。使用できる会場はどこかないか。</li> </ul>	<p>公共施設については、屋内でのイベント実施が可能な施設もございますが、施設毎に使用できる要件や販売や飲食の可否基準が異なりますので、一度施設管理者にご相談ください。</p>	<p>総務課</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり助成金の活用を検討しており、御嵩あかでんランド、歴史探検、クイズラリーのようなものをまち歩きイベントとして実施したいので相談に乗ってほしい。</li> </ul>	<p>まちづくり活動に関してのご相談は、まちづくり課において随時受け付けております。御嵩町まちづくり活動等応援補助金を募集していますので、活用をご検討ください。なお、事業計画の承認のため、審査会においてプレゼンテーションをしていただく必要があります。</p>	<p>まちづくり課</p>
○亜炭鉱廃坑について		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・亜炭鉱跡体験ツアーなどを実施できないか。負の遺産みたいなものではなく、前向きな施策を展開できないか。</li> </ul>	<p>体験ツアーなどの実施につきましては、崩落などのリスクが考えられ、万が一の緊急時に対応できないため、実施することは困難です。 中山道みたけ館には、採掘時のジオラマや亜炭の歴史などを紹介するコーナーが設けられているほか、令和5年度には隆盛を誇った御嵩町の歴史と現在の面影を後世に伝える資料として亜炭鉱跡等VR動画制作し、廃坑内部に入ったような体験をすることができますので、同館で体験していただければ幸いです。</p>	<p>亜炭鉱廃坑対策室</p>
○公民館活動について		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館費が前町長のときに削減された。公民館で途切れなく催し物が開催される地域がいい地域であると考えため、必要な活動費は確保してほしい。</li> </ul>	<p>昨年度実施された車座懇談会において、公民館活動への町補助金に対する見直しを望む意見が多数寄せられたため、公民館に対する補助制度の見直しを行いました。令和6年度からは、公民館活動交付金制度として新たな補助制度を創設し、公民館活動に対する財政支援の充実を図っております。</p>	<p>生涯学習課</p>
○家庭教育学級について		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭教育学級（（0歳児、あいあい）と（1～3歳児、乳幼児学級））のクラスを合体させたような空間の創出はできないか。</li> </ul>	<p>家庭教育学級は、年齢に応じた子どもの成長や発達段階に合わせた親（保護者）同士の学びとつながり作りを目的に開設しているため、0歳児から3歳児までを一つに合体させた学級を企画運営していくことは困難と考えております。 ただし、0歳児学級（あいあい）と1～3歳児学級（乳幼児学級）では、合同学級を開催し、交流等を行っているとともに、家庭教育学級合同講演会なども開催し、引き続き各学級同士の交流等を行っていきたいと考えております。</p>	<p>生涯学習課</p>
○その他		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・世代を超えた交流を実施できないか。例えば、厄年の人が集まるなど、交流できる場を提供してほしい。</li> </ul>	<p>まちづくり活動に関してのご相談は、まちづくり課において随時受け付けております。御嵩町まちづくり活動等応援補助金を募集していますので、活用をご検討ください。なお、事業計画の承認のため、審査会においてプレゼンテーションをしていただく必要があります。 各公民館では、夏祭りや文化祭などを通じて世代を超えた地域の住民同士が交流できる場を提供したり、家族で参加できるような講座等も行ってまいります。公民館では、今後も地域の住民同士の交流を推進する活動を行ってまいります。</p>	<p>まちづくり課 生涯学習課</p>

意見	今後の対応、回答	担当課
<p>・ カテゴリー別など御嵩の歴史をまとめた絵本などを作成できないか。また、個人が作成した場合の出版など、流れ、方法を教えてほしい。</p>	<p>絵本ではありませんが、町では御嵩町の歴史を含めて御嵩町の色々なことを知る事ができる「みたけカルタ」を製作しています。  また、過去に町広報紙に掲載されていました「じいさまから聞いた話」の中から何話か選び、1冊の本にしております。  個人で絵本を作成する場合がございますが、作成したい絵本の内容や仕様等によって出版、流れ、方法が異なり、町では具体例をお示しすることはできかねます。インターネットでの絵本の作成事例も参考にしてみてください。</p>	<p>生涯学習課</p>